

【お問い合わせ先】

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3576 FAX 045-682-3690

本資料はCaterpillar米国本社が2019年4月24日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

Caterpillar が 2019 年第 1 四半期業績を発表

売上高と収益の増加により、第 1 四半期過去最高の 1 株当たり利益を達成

(単位：10 億ドル、但し 1 株当たり利益除く)	第 1 四半期	
	2019	2018
売上高	\$13.5	\$12.9
1 株当たり利益	\$3.25	\$2.74

- 2019年第1四半期、売上高は5%増
- 第1四半期の1株当たり利益は過去最高
- 現在の見通しによる1株当たり利益は、第1四半期の1株当たり0.31ドルの米国税制改革による効果を織り込み、12.06～13.06ドルの幅に引き上げ
- 7億5,100万ドルの自社株買い戻し

(イリノイ州ディアフィールド発) — Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は本日、2019年第1四半期の業績を発表しました。同四半期の売上高は135億ドルで、129億ドルだった前年同期と比べると5%増となりました。同じく1株当たり利益は、第1四半期過去最高の3.25ドルを達成し、前年同期に達成した過去最高記録2.74ドルをさらに19%上回りました。

同四半期の1株当たり利益には、米国税制改革による1億7,800万ドル相当(1株当たり0.31ドル)の効果が織り込まれています。ちなみに、2018年第1四半期の1株当たり利益には、1株当たり0.08ドルの事業再構築費用が織り込まれていました。

同四半期の建設機械、エネルギー&トランスポーターション (ME&T) 事業部門の運営キャッシュフローは8億6,000万ドルで、当社は、Caterpillar 普通株7億5,100万ドル相当を買い戻し、4億9,400万ドル相当の配当金を支払いました。結果、全社現金残高71億ドルで同四半期を終えました。

Caterpillar の Jim Umpleby (アンプレビー) 会長兼 CEO は、「世界中の Caterpillar 社員の力で、第1四半期過去最高の1株当たり利益を達成できました。当社は、サービスへの投資、製品の拡充、『オペレーションの卓越性』の向上を通し、『利益ある成長』に向けた自社戦略を実行しています」と述べました。

2019 年見通し

当社は多様なエンドマーケットの各種経済指標を引き続き信頼し、2019年の業績予想は従来の見通しに据え置きます。ただし、1株当たり利益の見通しは、1株当たり0.31ドルの米国税制改革による効果を織り込み、従来見通しの予想値である11.75～12.75ドルの幅を修正し、12.06～13.06ドルの幅とします。第1四半期の1億7,800万ドル相当(1株当たり0.31ドル)の効果は、米財務省が最近発表した法規の内容を受けた米国税制改革によるものです。なおこの見通しには、年金および

OPEB（年金以外の退職後給付）プランの再評価に伴う時価評価損益は含まれておらず、本年第4四半期には、他の個別項目同様、調整後1株当たり利益も含まれないこととなります。

以上

キャタピラー社について：

建設機械の歴史は、1925年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。また、1963年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。